

大郷町中央公民館 一閑張り教室

今年度から公民館訪問に事業視察が加わったこともあり、先行して6月24日(水)、大郷町中央公民館の「一閑張り教室」に伺わせていただきました。この講座は、開講されてから6年になります。講師は七ヶ浜町在住の、書道家・内海しげ子先生です。先生は、「大郷町の方々は明るく一生懸命な方々ばかり。素晴らしいです。」とお話してくださいました。

「一閑張り」とは？
和紙を何度も貼り重ねて形を作る日本の伝統工芸品。

今回のテーマは「オリジナル作品づくり」。3回シリーズの初回にお伺いしました。和紙を板に重ねて糊で貼り、ミニ屏風を作るという内容でした。木に合わせて色のついた和紙を切り、和紙の上から糊を丁寧に隙間無く塗っていきます。さらに、模様の入った白い和紙をその上に重ね、また丁寧に塗っていきます。糊が乾くと、淡い色合いになり、品のある屏風になっていくということでした。受講生の皆さんの完成品をぜひ見せていただきたいと心から思いました。本当にありがとうございました。

内海
しげ子
先生

楽しく作り
ましょう！

大郷町の方が内海先生に一閑張りを習いに行っていたことが御縁で、大郷町中央公民館でもぜひ開いてほしいという要望の声によって6年前に始まった「一閑張り教室」。地域のニーズに応えた特色ある素晴らしい事業の一つです。

先生が見本として作
った完成品です。美し
いですね。

和紙の中にある糸
の向きを斜めに利
用してみました。

慎重に作業してます。

どの受講生の皆さんも真剣！
芸術家の気合いを感じました。

端までしっかりと美しく・・・

和紙は板に
合わせて切り
ます。

この3点セットを家に持ち帰
り、乾燥させて、次回持ってき
ます。

隙間を作らないように
糊を塗っていきます。

和紙の上から、丁寧に塗
ります。

令和2年度「一閑張り教室」経験者コース 今後の予定
2回目 7月15日(水) 裏面を作成
3回目 8月5日(水) 蝶番等を付け作品完成

内海先生と受講者の方々と和やかな雰囲気の中活動しています。公民館講座の特色ある事業の一つです！*大郷町公民館 担当者より*